

2020年12月14日

電通テック、小野愛佳が「2019年度 第68回 朝日広告賞」にて、グランプリを受賞！

株式会社電通テックのアートディレクター小野愛佳の企画制作した作品が、「2019年度 第68回 朝日広告賞」一般公募の部にて、グランプリを受賞いたしました。また、同部門にてコピーライター北川秀彦とアートディレクター國本翼の企画制作した作品、およびアートディレクター三浦優大の企画制作した作品も入選いたしました。

「朝日広告賞」は、株式会社朝日新聞社が主催し、次世代を担う広告制作者の発掘と、新しい広告表現の創造を目指す広告賞です。表彰部門は、紙面に掲載された広告を対象とする「広告主参加の部」と、若きクリエイターが腕を競う「一般公募の部」の2部門で構成され、グランプリである「朝日広告賞」をはじめ、各7つの賞が選出されます。今回、「一般公募の部」1,687点、「広告主参加の部」300点、計1,987点の応募の中から、両部門で計52点の受賞が発表されました。

【2019年度 第68回 朝日広告賞 受賞概要】 (受賞者五十音順)

<朝日広告賞 (グランプリ)>

- 部門：一般公募の部
- 広告主：パナソニック株式会社
- 課題：乾電池エボルタ NEO
- 受賞者：小野愛佳 (UXデザインクリエイティブ室)
- タイトル：子供が先に電池切れ。
- 段数：全30段 (二連版)



朝日広告賞「子供が先に電池切れ。」

<入選>

- 部門：一般公募の部
- 広告主：株式会社マイナビ
- 課題：総合情報サービス企業であるマイナビの企業広告
- 受賞者：北川秀彦、國本翼 (UXデザインクリエイティブ室)、三宅幸代
- タイトル：現代の転機には。
- 段数：[1] 元・教師 [2] 元・格闘家 [3] 元・農民 全15段
- シリーズ：3点



入選「現代の転機には。」

- 部門：一般公募の部
- 広告主：サントリーホールディングス株式会社
- 課題：『クラフトボス』の広告
- 受賞者：三浦優大 (UXデザインクリエイティブ室)
- タイトル：あの人を休ませる理由。
- 段数：全15段



入選「あの人を休ませる理由。」

※「2019年度 第68回 朝日広告賞」受賞作ページ：<https://www.asahi-aaa.com/backnumber/>

【本件のお問い合わせ先】

株式会社 電通テック 事業企画室 コミュニケーションデザイン部 /メール：kouhou@dentsutec.co.jp